

【子どもたちに与えたいこと】

慌ただしい、特に慌ただしい3月を迎えました。中3長女の受験と卒業、小6長男の卒業、保育園では当然のことですが年長児が、一つ一つ行事を終え卒園に向けて限りある1日を過ごしています。私としてはこの仕事に就いてから、かれこれ15回目の春を数えます。

大人としては、自分が子どもだった時の記憶は遠ざかり、毎日の仕事を抱えながら子どもたちを保育園や学校に送り出すことの連続に過ぎませんが、今、別れに立ち向かわんとする寂しさ、不安、期待など複雑な子どもたちの心に寄り添うことを忘れたくないものです。もちろん、さくら組をはじめクラス全部の保護者の皆さんの心にも。

さて話は小学校に話題を変えます。先日、PTAや学校運営協議会の機会に授業参観に行った時の話です。教育現場でもタブレットが使用され、音楽の授業も楽器はもちろんタブレットを使い取り組んでいる光景がありました。各教室にはモニターが設置され、その日見た道徳の授業では「命はなぜ大事か」や新聞記事「被災地に千羽鶴を送ることの是非」を賛成派否定派で意見を交わしていました。その時、ある児童がこんな趣旨の意見をしていました。「被災地にはお金や物資を送ることは大事だと思う。でも、スキー教室にお父さんが参加してもらったお礼の手紙に、お金以上の価値を感じて感激していた。だから心を送ることも意味があるのではないか」と。私も今回、恥ずかしながら初めてスキー教室（6年生・4年生・1年生）にお手伝いとして参加し、各学年からお手紙をもらい嬉しかった想いがこみあげたな～と思い出した瞬間でした。

また、今年のかまくらが土日開催ということで、横手南小学校では土曜日を学校授業としてミニかまくらを全員で制作するとともに、横手市観光推進機構さんの協力も得て、観光客の皆さんへの招待状やキーホルダー、おすすめマップ、ミニ梵天づくり、チラシに謎解きなどなど、各学年総出で関わったおかげで美しい光景を実現することができました。観光に来た方からはお手紙を頂戴し、子どもたちが頑張った成果が伝わったことを嬉しく思っています。

私も毎年、蛇の崎のミニかまくら作りに参加させてもらっていますが、楽な作

業ではないです。あそこで作るミニかまくらはバケツでなく、漬物をつける樽サイズのバケツを使って、3,000個以上のミニかまくらを市内外の皆さんで作るわけですが。バケツをひっくり返した頭が直線ではかまくらとは言えません。ミニかまくらでも、頭をかまくらのようにして一個一個こしらえるのです。私は大変さの一端しか知りませんが、美しさの裏に苦勞の汗が詰まっています。

教育現場もタブレットやAIの力を借りることは自然に行われていく社会環境となっているし、ますます進んでいくでしょう。仏教界においてもちょっとざわつかせたのが京都大学の開発チームが「ブッダ AI」を発表したニュース。ブッダが語った経典を学習したAIが人生相談から社会問題まで、さまざまな質問にQ&A形式で回答してくれるというもの。これから色々な偉人版（名優の寅さんや、西田さんなども）も出てくるのではないかと想像しています。関連して、故アントニオ猪木さんの誕生日を祝し、猪木ロイドが公開されました。これはホログラム映像と生成AI音声を融合させたもので、壇上によみがえった猪木さんは「最近のニュースは、どこでもAI、AI…。私こそ元祖A（アントニオ）I（猪木）。相変わらず馬鹿を言っております」などとジョークを飛ばしたとのこと。いずれ葬送の場においても、亡くなった方が目の前に登場し語りだす、そんな未来がもうすぐそこまで来ていることを予感させます。

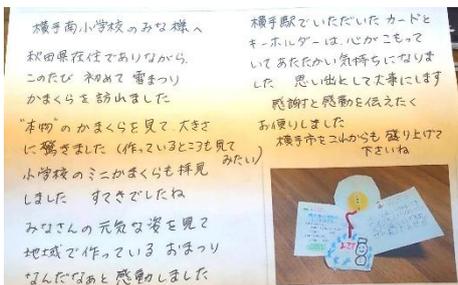
子どもたちも我々大人も、そこにいながら知ることや仕事を任せることができるようになった時代になりましたが、私としてはそこに汗をかくような経験の両輪が大事であると考えます。例えばかまくらを説明するにしても、ただを知っていることと、自分で作ったことがあるとでは学んだことの価値に大きな差があります。

かまくらも10年前に比べ100基から40基程度に、かまくら職人さんも20名から15名に。梵天も出る数が減少していく。全国的にもおまつりの維持は課題ですが、学びの両輪から、おまつりを守っていくことにもつながっていけばいいなと勝手に思っています。

保育・教育現場では本物の経験を見つめ直していかなければならない時代になったのだと思います。でも、本物は面倒なんです、時間がかかるんです。お雛様をとってもそうでしょう。一個一個出して並べて、片づけて。これが技術のみ頼れば、写真掲示やプロジェクター投影でいい。（おにぎりマンだって、子どもたちにばれないように隠れて着替えて。）

一方で、保育も教育現場も同様に教職員の働き方改革を同時進行しないとイケない。「技術に頼るところ、本物の体験を選ぶところ、そして本物の体験をするために地域に頼るところ」、そんな3つが組み合わせられていくことが子どもたちの成長発達には大事です。

（園長 津村 侑弥）



今月の歌

3歳未満児組… うれしいひなまつりさんぽ はる など

3歳以上児組… はるがきた さよならみんなのほいくえん など

目標

0歳児 (ひよこ組)	一人一人の生活リズムが保障された中で、個人の発達に合った、遊びや関わりを存分に楽しむ	3歳児 (もも組)	自分でできることに達成感を感じながら過ごす中で、遊びや生活に見通しをもち行動する
1歳児 (りす組)	簡単な身の回りのことに挑戦したり、思いを簡単な言葉で表現したりを丸ごと受け止められ、のびのびと過ごす	4歳児 (ひまわり組)	進級への期待をもちながら、生活に必要な習慣や行動に意欲的に取り組み、身に付けていく
2歳児 (うさぎ組)	友達との遊びや保育士とのやり取りを通し、自分の思いが相手に伝わる心地よさや思いの共有のうれしさなどを体験する	5歳児 (さくら組)	卒園に向けての期待や寂しさなどの気持ちを受け止め、友達や職員との時間を大切に過ごす

行事

1日(土)	新入児説明会	9:00~11:00
	横手市保育士会総会	14:00~17:00
3日(月)	ひな祭り誕生会	10:00~10:40
4日(火)	おたのしみ遠足(さくら組)	9:00~16:00
5日(水)	交通安全指導(交通ルールの再確認 実際に道路を歩く)	
6日(木)	詩吟勉強会(さくら組)	11:00~11:30
11日(火)	避難訓練(東日本大震災法要)	10:00~10:30
13日(木)	昔語り	11:00~11:30
19日(水)	職員ミーティング	13:00~14:00
22日(土)	卒園式(さくら組)	9:30~10:30
24日(月)	身体測定(3歳未満児組)	
25日(火)	// (3歳以上児組)	
	市長インタビュー・横手市議会訪問(さくら組)	10:00~11:30
26日(水)	法人理事会	13:00~15:00

28日(金)~29日(土) 新年度準備希望保育期間

来月のお知らせ

19日(土) 保育参加(新もも組・ひまわり組・さくら組)
*内科健診・歯科検診があります。

元気な子に
なあれ!!

はやね



はやおき



あさごはん



♪マーチングバトンタッチセレモニー♪

2月22日(土)にひまわり組・さくら組でのマーチングバトンタッチセレモニーが行われました。お家の方の前で演奏・演技を初披露したひまわり組さん!最後のマーチングを披露したさくら組さん!とってもかっこよかったです!お家の方からもたくさん褒めてもらったようでした(*^-^*)
*当日の様子はHPをご覧ください。

もうすぐ
いちねんせい!



じゃんけん列車をしたよ!!



えんぴつ
の持ち方
を教
えて
もら
った
よ!!



校内探検楽しかったよ!!



さくら組さんが
それぞれ入学する
小学校での体験入
学に参加してきま
した



1年生がや
さしくして
くれたよ!!